



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 ミツ星ベルト株式会社

上場取引所 東

コード番号 5192 URL <http://www.mitsuboshi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 垣内 一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 増田 健吉

TEL 078-685-5630

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	47,685	13.4	4,720	11.0	5,970	32.9	4,075	42.8
25年3月期第3四半期	42,042	1.3	4,251	△8.6	4,493	3.2	2,853	△0.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 6,609百万円 (115.0%) 25年3月期第3四半期 3,073百万円 (77.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	
26年3月期第3四半期	63.07	—	
25年3月期第3四半期	43.40	—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
26年3月期第3四半期	79,877	—	51,184	—	64.1	792.16
25年3月期	72,790	—	44,146	—	60.6	683.18

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 51,184百万円 25年3月期 44,146百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
26年3月期	—	7.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,000	11.5	6,000	14.9	7,000	16.8	4,400	17.8	68.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) エムオーアイテックプライベート
リミテッド

(注)詳細については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	71,208,397 株	25年3月期	71,208,397 株
26年3月期3Q	6,594,791 株	25年3月期	6,589,433 株
26年3月期3Q	64,616,116 株	25年3月期3Q	65,749,859 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、アベノミクス効果によって円安と株高が進行し、消費の持ち直しに加えて設備投資の改善が進んだことから、景気は緩やかに回復しました。

このような環境のもと、当社グループはアジア圏を中心とした成長市場における販売活動を強化するとともに生産体制の再構築を推進し、経営の効率化と一層のコスト削減に取り組んでまいりました。

その結果、アジア圏を中心とした海外の売上高が堅調に推移し、かつ、為替の円安が進行したことなどにより、業績予想を上回る売上高・利益を計上いたしました。当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高476億85百万円（前年同期比13.4%増）、営業利益47億20百万円（前年同期比11.0%増）、経常利益59億70百万円（前年同期比32.9%増）となりました。特別損益においては、固定資産売却益2億24百万円を特別利益に計上した結果、四半期純利益は40億75百万円（前年同期比42.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔国内ベルト事業〕

自動車用ベルトの新車組み込みライン用は、国内新車販売は増加しているものの、ベルト装着車比率の減少により売上高は前年同期並みとなりました。補修用ベルトは車検交換需要の減少などから売上高が減少しました。

また、為替の円安進行によりユーザの海外生産移管の流れが鈍化しつつあることから、OA機器用ベルトの売上高は前年同期を若干下回る結果にとどまり、一般産業用ベルトは増加しました。

一方、運搬ベルトは積極的な新製品の投入が売上拡大に寄与するとともに、合成樹脂素材も自動車関連部品が伸長し、いずれも売上高が増加しました。

その結果、当事業の売上高は199億29百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は49億77百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

〔海外ベルト事業〕

欧州では、自動車用ベルトは現地通貨ベースでは前年同期を下回る結果となりましたが、一般産業用ベルトは農業機械用を中心に売上高が好調に推移し、全体では前年同期並みとなりました。

また、米国では、自動車用ベルトと一般産業用ベルトの売上高はいずれも堅調に推移しました。

一方、アジアでは積極的な拡販活動により、一般産業用ベルトの売上高が中国やインドネシアを中心に増加するとともに、自動車用・OA機器用ベルトの売上高も増加しました。

当事業全体の売上高は現地通貨ベースで前年同期を上回る結果となった上に、為替レートが前年同期と比較し円安になったことにより、邦貨ベースでは大幅な増加となりました。

その結果、当事業の売上高は211億12百万円（前年同期比36.3%増）、営業利益は12億84百万円（前年同期比68.3%増）となりました。

〔建設資材事業〕

建築部門は、建設投資全体に回復の動きが見え、公共工事や民間の改修工事物件の売上高が増加しました。土木部門は、前年同期に比べ大型物件が少なかったことから、売上高が減少しました。

その結果、当事業の売上高は37億31百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益は1億12百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

〔その他〕

その他には、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、ナノ粒子を応用した新製品、仕入商品等が含まれております。

その他の売上高は29億12百万円（前年同期比11.0%減）、営業利益は1億56百万円（前年同期比160.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末は、受取手形及び売掛金の増加等により流動資産が32億16百万円、有形固定資産が13億59百万円、株価の上昇に伴い投資その他の資産が25億5百万円とそれぞれ増加した結果、総資産は前連結会計年度末比70億87百万円増加の798億77百万円となりました。

負債も、固定負債が8億45百万円減少したものの、流動負債が8億93百万円増加したことにより、前連結会計年度末比49百万円増加の286億93百万円となりました。

また、純資産も、四半期純利益の計上により利益剰余金が31億45百万円、株価の上昇及び為替が円安に推移した影響によりその他の包括利益累計額が38億96百万円とそれぞれ増加した結果、前連結会計年度末比70億38百万円増加の511億84百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の60.6%から64.1%に上昇しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

米欧経済の回復は依然として力強さが欠け、新興国経済にも懸念があるものの、海外及び国内の経済は緩やかに回復すると見られています。当社製品の需要はアジア圏を中心に堅調に推移し、また、為替水準も円安基調が続くと見られることから、平成26年3月期の通期連結業績予想の見直しを行い、平成25年11月11日発表の予想を修正いたしました。

詳細については、本日（平成26年2月7日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、エム オー アイ テック プライベートリミテッドについては、ミツボシ オーバーシーズ ヘッドクォーターズ プライベート リミテッドと合併したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうちミツボシ ベルティング インディア プライベート リミテッドを除く23社については、決算日が12月31日であったため同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っておりましたが、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外した1社を除く22社のうち20社は決算日を3月31日に変更し、中国にある子会社2社については3月31日に仮決算を行うこととしました。

この変更により、当第3四半期連結累計期間は、平成25年4月1日から平成25年12月31日までの9カ月間を連結しております。なお、平成25年1月1日から平成25年3月31日までの3カ月間の損益については、利益剰余金に直接計上しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,875	14,982
受取手形及び売掛金	12,808	14,696
商品及び製品	9,543	10,461
仕掛品	1,389	1,843
原材料及び貯蔵品	2,488	2,240
その他	1,110	1,176
貸倒引当金	△80	△50
流動資産合計	42,135	45,351
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,960	6,948
機械装置及び運搬具（純額）	7,057	7,511
工具、器具及び備品（純額）	1,439	1,440
土地	4,184	4,272
建設仮勘定	1,166	1,994
有形固定資産合計	20,808	22,167
無形固定資産		
投資その他の資産	76	82
投資有価証券	9,473	11,938
その他	321	359
貸倒引当金	△24	△22
投資その他の資産合計	9,770	12,275
固定資産合計	30,655	34,525
資産合計	72,790	79,877

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,723	7,911
短期借入金	7,392	7,533
未払法人税等	864	940
賞与引当金	418	129
その他	3,105	3,882
流動負債合計	19,505	20,398
固定負債		
長期借入金	4,917	3,032
退職給付引当金	404	579
役員退職慰労引当金	25	19
その他	3,792	4,663
固定負債合計	9,139	8,294
負債合計	28,644	28,693
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	5,480	5,480
利益剰余金	31,917	35,062
自己株式	△3,410	△3,413
株主資本合計	42,138	45,279
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,650	6,217
為替換算調整勘定	△2,642	△312
その他の包括利益累計額合計	2,008	5,904
純資産合計	44,146	51,184
負債純資産合計	72,790	79,877

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	42,042	47,685
売上原価	29,266	33,516
売上総利益	12,776	14,169
販売費及び一般管理費	8,525	9,448
営業利益	4,251	4,720
営業外収益		
受取利息	37	54
受取配当金	156	207
為替差益	228	928
その他	223	329
営業外収益合計	645	1,520
営業外費用		
支払利息	129	100
その他	274	170
営業外費用合計	403	270
経常利益	4,493	5,970
特別利益		
固定資産売却益	—	224
特別利益合計	—	224
税金等調整前四半期純利益	4,493	6,194
法人税等	1,639	2,119
少数株主損益調整前四半期純利益	2,853	4,075
四半期純利益	2,853	4,075

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,853	4,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	179	1,546
為替換算調整勘定	40	987
その他の包括利益合計	219	2,533
四半期包括利益	3,073	6,609
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,073	6,609
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	19,506	15,488	3,776	38,771	3,271	42,042	—	42,042
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,414	2,157	1	7,573	1,062	8,635	△8,635	—
計	24,921	17,645	3,777	46,344	4,333	50,678	△8,635	42,042
セグメント利益	4,682	763	116	5,562	60	5,623	△1,372	4,251

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,372百万円には、セグメント間取引消去507百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,879百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	国内 ベルト	海外 ベルト	建設資材	計				
売上高								
外部顧客への売上高	19,929	21,112	3,731	44,773	2,912	47,685	—	47,685
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,767	2,213	0	7,981	2,631	10,612	△10,612	—
計	25,696	23,326	3,731	52,754	5,543	58,298	△10,612	47,685
セグメント利益	4,977	1,284	112	6,375	156	6,532	△1,812	4,720

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備機械、他社仕入商品、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、サービス事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,812百万円には、セグメント間取引消去163百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,975百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。